

KiKiの広場

2013年 1月 7日

cafe NO.27
KiKi



あけましておめでとうございます！

今年は巳年、日常的には何かと嫌われ者のへびですが、岩国の白蛇のように縁起がいいとか、神様の使いだとか、へびにだっていいイメージはたくさんあります。何ととっても脱皮をして成長するって、羨ましいというか何もかも脱ぎ捨てて出直すことができるって、いいなあって思います。でも人間はそうはいきません。今年は我が身に蓄積されたどんなものも糧として（と思いたい！）、小さな脱皮を試みつつ、少しでも前進できるよう頑張りたいと思います。みなさま、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1月の予定	
8日(火)	休館日



「今月のケーキ」・・・「かぼちゃの焼きケーキ」300円
バターをたっぷり使用した生地にかぼちゃを練り込み、かぼちゃスライスと甘く煮た小豆をトッピングした、手作り感あふれる素朴なケーキです。温かいケーキとしても美味しくいただけます。



今月のお気に入り・・・「冬に読みたい・出会いたい絵本」



～「ゆきむすめ」「かさじぞう」「みるなのくら」「アンナの赤いオーバー」「ゆうかんなアイリーン」などなど～

「おおきなかぶ」の内田莉紗子・佐藤忠良のコンビと、岸田衿子・スズキコージの2つの「ゆきむすめ」とけてなくなる雪のように切ないお話ですが、心の奥深く積もる雪のように、心の中にずっと残ります。どちらもすてきな絵本です。それぞれのゆきむすめに会ってみてください。



今月の本棚・・・「へびが出てくる絵本」

～「へびのクリクター」「へびのひみつ」「どいてよへびくん」「へびの子しとこ」「からすのカーさんへびたいじ」など～

どうひいき目に見ても、「かわいい」とは言い難いへびですが、「すてきな三にんぐみ」の作者トミー・ウンゲラーの「へびのクリクター」は、とってもおしゃれでかわいくて賢いんです。飼い主のボドさんに子どものように可愛がられ、町中から愛され尊敬されたクリクター。読み終わったらへびを飼いたくなるかもしれません。そして



「へびのひみつ」は、いろいろなものを丸呑みする様子など迫力満点の写真絵本です。へびの口があんなに大きくあくなると、へびの目がウロコで覆われていてその目も脱皮するなんて、知っていましたか？へびが苦手な人にもぜひ読んでもらいたいです。好きになるかどうかはわかりませんが・・・



ほっとフレイク

魔女？・・・時々夕方1人で来られて、ゆっくり絵本を読んで帰られる若くてかわいい女性のお客さま。角野栄子さんの本も大好きだと言われて、「魔女からの手紙」などを手に取って読んでおられました。ふと顔を上げ、しみじみと私を見て、「なんかほんと魔女って感じですね。」とにっこり。えっ？確かにその日着ていた服は黒だし年季の入った顔かもしれませんが、魔女みたいっていったい？う～ん、まあ「魔女とか好きなんです。」とも言われていたので、まっ、ほめ言葉ということで・・・(^_^)



Uちゃん2世・・・9月に生まれたスタッフUちゃん2世のIくんが、初めてKiKiにやってきました。11月にお宅へお邪魔した時は、まだふにゃふにゃ？でみんながおそろおそろ抱っこしているって感じでしたが、今回は首もちょっぴり座っていて抱きやすくなっていました。でもまだ何と言っても人間になって、3か月。手も足も何もかもちっちゃくって、もうもう「きゃー！かわいい～！！」です。つま先までのつなぎの服を着て、ぬいぐるみみたいなIくん、みんなの腕から腕に移動する間に眠ってしまいました。(♡大物の予感♡) きっと毎日いろいろな成長を、優しいイケメンパパときれいなUちゃんママに見せていることでしょうね。次回会うのが楽しみです。今年は、ヒストリアの優し～いおじいちゃんにも抱っこしてもらおうね。(*^^)v

